



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新港地区客船ターミナル	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市中区新港二丁目14番1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、ホテル、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年3月1日
敷地面積	17,370 m <sup>2</sup>	作成者	田村慶太
建築面積	9,254 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月14日
延床面積	29,571 m <sup>2</sup>	確認者	田村慶太

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (スコア: 3.0)  
Q2 サービス性能 (スコア: 3.1)  
Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 1.9)  
LR1 エネルギー (スコア: 3.0)  
LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.8)  
LR3 敷地外環境 (スコア: 2.8)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)

#### Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 1.9)

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.0)

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.8)

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.8)

3 設計上の配慮事項		
総合	建物高さを抑えた計画として、敷地周辺に圧迫感の少ない景観に配慮した計画としている。	その他 0
Q1 室内環境	ガラス面を多く採用し、室内に自然光を積極的に取り入れる計画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 海辺の敷地に対応する為塩害対策を施し建物寿命を延ばす計画としている。
LR1 エネルギー	ホテル客室開口部の周囲にフィンを設けることで直射日光が入りづらい計画としている。	LR3 敷地外環境 四季で変化する植栽や風にそよぐ植栽、桜などの日本らしい植栽などを配置し敷地周辺の緑化環境と呼応する計画としている。
Q2 サービス性能	ホテル・商業間のスラブへは遮音性能をもたせ、更新時に互いに影響の少ない計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	室内間仕切り壁は躯体と切り離し、躯体の継続利用に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



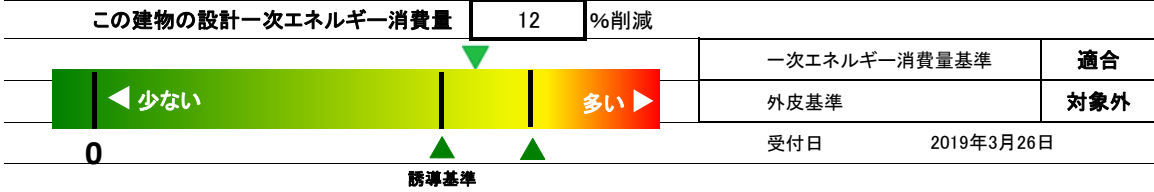
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)新港地区客船ターミナル

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①外壁は高断熱・高气密とし、ガラスにはペアガラスやLow-eガラスを採用することによって熱負荷の抑制を図った。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑨商業及びホテルパブリックエリアにて冷暖切替を可能としている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫維持管理に配慮した設計としている

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	